

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年10月23日(2014.10.23)

【公開番号】特開2012-97082(P2012-97082A)

【公開日】平成24年5月24日(2012.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2012-020

【出願番号】特願2011-234776(P2011-234776)

【国際特許分類】

C 0 7 C 17/32 (2006.01)

C 0 7 C 22/08 (2006.01)

C 0 7 C 25/02 (2006.01)

C 0 7 C 41/30 (2006.01)

C 0 7 C 43/205 (2006.01)

C 0 7 C 67/333 (2006.01)

C 0 7 C 69/76 (2006.01)

C 0 7 C 253/30 (2006.01)

C 0 7 C 255/50 (2006.01)

C 0 7 C 45/67 (2006.01)

C 0 7 C 49/80 (2006.01)

C 0 7 D 471/04 (2006.01)

C 0 7 D 213/14 (2006.01)

C 0 7 D 213/26 (2006.01)

B 0 1 J 31/30 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 17/32

C 0 7 C 22/08

C 0 7 C 25/02

C 0 7 C 41/30

C 0 7 C 43/205 A

C 0 7 C 67/333

C 0 7 C 69/76 Z

C 0 7 C 253/30

C 0 7 C 255/50

C 0 7 C 45/67

C 0 7 C 49/80

C 0 7 D 471/04 1 1 2 T

C 0 7 D 213/14

C 0 7 D 213/26

B 0 1 J 31/30 Z

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月8日(2014.9.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

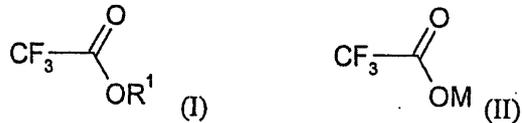
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

活性化剤化合物として無機ハロゲン化物塩またはトリフルオロ酢酸塩、および銅塩と一座、二座または三座の芳香族または脂肪族のアミンまたはピリジンのリガンドとの触媒的組合せの存在下で、

非置換または置換の、ハロゲン化アリールまたはハロゲン化ヘテロアリールを、式 (I) または式 (II)

【化 1】



(式中、R¹ は、水素または C₁ ~ C₅ アルキル基であり、M は、アルカリ金属またはアンモニウムイオンである)

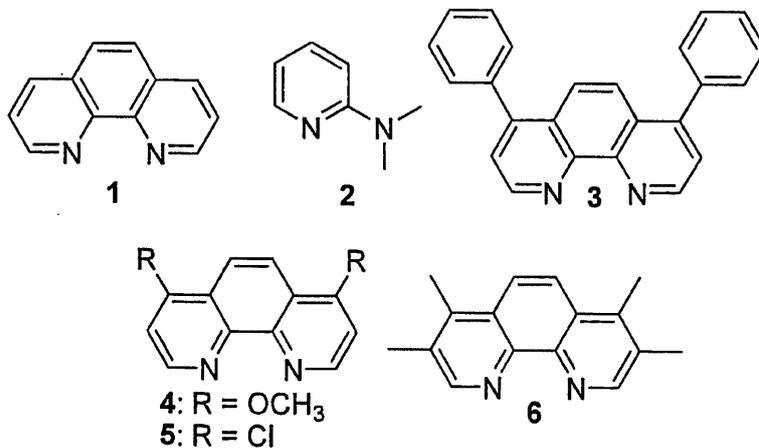
のトリフルオロアセテートと反応させる工程を含む、

トリフルオロメチル化された非置換または置換のアリールまたはヘテロアリール化合物を製造する方法。

【請求項 2】

前記リガンドが、式 1 ~ 式 6

【化 2】



によるピリジンまたは 1,10-フェナントロリンである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記リガンドが、エチレンジアミン、2-ジメチルアミノピリジンまたは 1,10-フェナントロリンである、請求項 1 に記載の方法。